

# シンフォニー Symphony

## ご挨拶

社会福祉法人 横浜市社会事業協会  
理事長 佐々木寛志

今年もはや 2 月、法人の事業年度（平成 29 年度）の締めくくりとなる 3 月も間近です。今年度は、昨年 4 月、新規事業として横浜市多機能型拠点「こまち」と、併設の「なごみクリニック」の運営が始まりました。多機能型拠点は、障害福祉サービスに加え医療サービスを提供するもので、横浜市が今後の障害福祉施策の重要な柱として位置付けているものです。当協会としては、これまでリバーサイド泉 3 施設で培った経験をもとに、重症心身障害児者が必要とする様々なサービスを提供します。新しい事業ですから、それが軌道に乗るまでには一定の時間がかかることがあります。法人の将来にとっても大切な事業ですから、協会一丸となって頑張っていきたいと思います。

さて、昨年 10 月に法人の上半期の経営実績を振り返ってみたところ、9 月末日時点で平成 29 年度の事業活動の収支がマイナスになると見込まれました。そこで、下半期には各施設において積極的な収入の確保とより一層の効率的な運営に努め、当初予算で掲げた収支均衡を目指すこととしました。もとより社会福祉法人は企業のように利潤を追求するものではありませんが、利用者の方々に必要なサービスを提供し、働くすべての職員の福利を確保するためには、法人として安定した財務運営を継続することが不可欠です。今後とも法人の健全な経営基盤を確保するために、引き続き役職員が力を合わせて各事業に取り組んでまいります。職員のみなさんには、それぞれの職場において一人ひとりが、そしてチームとしてしっかりと役割を果たすことをお願いします。

また、昨年 4 月、改正社会福祉法が施行されました。当法人でも、評議員、理事、監事の皆さまのご協力のもと、無事に新体制に着地できました。この改正社会福祉法では、特に経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、そして財務規律の強化が求められています。改めて、法人としてこれらの課題に取り組んでまいります。評議員、理事、監事をはじめとする関係者の皆さんには、変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2018 年 2 月吉日



# 平成 29 年度 事業計画（抜粋）

## 基本方針

平成 29 年度は、社会福祉法改正による諸対応が必要となる。そのための準備を遅滞なく行う。

## 重点目標

- ① 社会福祉法改正に合わせ、会計事務処理体制の見直しを行う。
- ② 採用活動を強化し、職員数を充足させることにより、安定的なサービス供給体制を構築する。
- ③ 障害者雇用進法改正により、平成 30 年度より法定雇用率の引き上げが見込まれる。それに向けて全事業所での障害者雇用達成を目指す。

## 目標達成のための対応策

- ① 全事業所で会計業務の標準化を行い、定期的な確認を行うとともに、経理担当職員の教育による入力精度の向上などの対応を行う。
- ② 従来の採用媒体利用、大学とのネットワークを活かした採用に加えて、県外の大学など新規の人材供給先の開拓を行う。
- ③ 障害者雇用についての法人内への普及啓発、各事業所の業務切り出し支援・採用支援を行う。

## 目次

### ご挨拶（表紙）

事業計画・資金収支予算書	1、2
事業報告・決算書	3、4

### 事業所紹介

横浜中央浩生館	5	よこはまりバーサイド泉Ⅱ 光梨	11
よこはまりバーサイド泉	6	横浜市鶴見区精神障害者生活支援センター	12
横浜市大岡地域ケアプラザ	7	よこはまりバーサイド泉Ⅲ のぞみ・ひまわり	13
横浜市簗沢地域ケアプラザ	8	横浜市多機能型拠点こまち	14
横浜市保土ヶ谷区精神障害者生活支援センター	9	法人本部事務局	15
居宅サポート・リバーサイド泉	10		

# 平成29年度 資金収支予算書（当初）

経理区分		平成28年度	平成29年度	増△減
法 人 本 部	収入	124,091	173,315	49,224
	支出	138,437	173,851	35,414
よこはまバーサイド泉	収入	546,200	553,310	7,110
	支出	553,144	552,820	△324
居宅サポート・リバーサイド泉	収入	153,309	153,022	△287
	支出	142,920	150,462	7,542
グ ル 一 プ ホ ー ム ゆ い	収入	156,475	142,405	△14,070
	支出	154,240	142,235	△12,005
横 浜 市 中 央 浩 生 館	収入	174,218	178,081	3,863
	支出	160,912	173,305	12,393
横浜市大岡地域ケアプラザ	収入	172,998	169,614	△3,384
	支出	171,505	167,995	△3,510
横浜市簞沢地域ケアプラザ	収入	164,259	164,081	△178
	支出	163,906	161,097	△2,809
横浜市保土ヶ谷区生活支援センター	収入	76,341	85,904	9,563
	支出	76,338	85,796	9,458
グループホームサンライズ	収入	65,917	58,202	△7,715
	支出	58,821	57,600	△1,221
よこはまバーサイド泉Ⅱ光梨	収入	115,145	126,371	11,226
	支出	130,828	124,456	△6,372
グループホームアンダール	収入	42,802	41,198	△1,604
	支出	39,244	39,998	754
横浜市鶴見区生活支援センター	収入	73,132	74,076	944
	支出	71,132	74,246	3,114
よこはまバーサイド泉Ⅲのぞみ	収入	152,911	136,506	△16,405
	支出	139,257	135,061	△4,196
イ ン カ ル	収入	19,470	33,254	13,784
	支出	19,345	32,865	13,520
横浜市多機能型拠点こまち	収入	740,978	298,774	△442,204
	支出	740,891	361,973	△378,918
す て ら 縁	収入	16,039	24,069	8,030
	支出	12,630	23,299	10,669
本 部 収 益 事 業	収入	750	750	0
	支出	110	110	0
法 人 合 算	収入	2,794,285	2,412,182	△382,103
	支出	2,773,550	2,457,059	△316,491

# 平成 28 年度 事業報告（抜粋）

## 重点目標に対する達成状況

- ① 会計監査人導入に向けた準備として、貸借対照表各科目残高の内訳を隨時確認できる体制を導入するなど、会計事務処理体制の整備を行った。
- ② 平成 28 年 11 月に精神障害者・知的障害者を対象としたグループホーム「すてら縁」を開所した。また、平成 29 年 4 月開設の「横浜市多機能型拠点こまち」を開所した。
- ③ 新卒者対象の採用活動をより強化した結果、予定数を上回る 16 名の採用に至った。
- ④ アテインによる障害者雇用のほか、各事業所での障害者雇用の推進を図った結果、1 事業所で新たな障害者雇用が始まった。

# 平成 28 年度 決算書

資金収支計算書（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位 千円）

経理区分	収入	支出	差額
法人本部	182,342	169,795	12,547
よこはまバーサイド泉	564,673	564,673	0
居宅サポート・リバーサイド泉	133,361	133,264	97
グループホームゆい	137,011	136,278	733
横浜市中央浩生館	168,106	161,356	6,750
横浜市大岡地域ケアプラザ	169,134	168,325	809
横浜市簞沢地域ケアプラザ	169,274	167,607	1,667
横浜市保土ヶ谷区生活支援センター	78,538	77,469	1,069
グループホームサンライズ	56,980	56,793	187
よこはまバーサイド泉Ⅱ光梨	115,108	115,107	1
グループホームアンダール	41,287	41,150	137
横浜市鶴見区生活支援センター	71,298	69,400	1,898
よこはまバーサイド泉Ⅲのぞみ	150,309	150,309	0
横浜市多機能型拠点こまち	823,745	824,590	-845
インカラル	35,482	35,317	165
すてら縁	16,892	14,449	2,443
本部収益事業	737	36	701
法人合算	2,612,623	2,584,266	28,357

## 事業活動収支計算書（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(単位 千円)

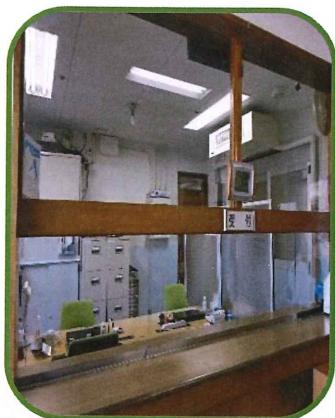
経理区分	収入	支出	差額
法人本部	175,912	143,951	31,961
よこはまバーサイド泉	564,137	572,464	-8,327
居宅サポート・リバーサイド泉	133,264	133,010	254
グループホームゆい	136,801	137,520	-719
横浜市中央浩生館	167,415	160,636	6,779
横浜市大岡地域ケアプラザ	168,072	168,779	-707
横浜市簗沢地域ケアプラザ	168,835	168,357	478
横浜市保土ヶ谷区生活支援センター	78,538	76,959	1,579
グループホームサンライズ	56,980	57,043	-63
よこはまバーサイド泉Ⅱ光梨	115,108	114,914	194
グループホームアンダール	41,287	41,286	1
横浜市鶴見区生活支援センター	71,227	69,700	1,527
よこはまバーサイド泉Ⅲのぞみ	150,161	152,305	-2,144
横浜市多機能型拠点こまち	528,866	588,010	-59,144
インカル	35,482	29,609	5,873
すてら縁	8,442	11,878	-3,436
本部収益事業	737	822	-85
法人合算	2,338,489	2,364,470	-25,981

## 貸借対照表（平成29年3月31日現在 法人合算）

(単位 千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	634,631	流動負債	185,926
		固定負債	383,663
固定資産	1,736,391	負債合計	569,589
		純資産	1,234,070
合計	2,371,022	次期繰越活動収支差額	567,363
		合計	2,371,022

# 更生施設 横浜市中央浩生館



## 【事業所紹介】

生活保護法に基づく更生施設として、社会生活に課題を抱えている方々が、規則正しい生活で健康を回復し地域で自立した生活が送ることができるよう支援を行っています。

【職員構成】  
中央浩生館 17名  
インカル 5名  
すてら縁 8名  
20代～60代

聞き手

平野渉（ひらの・わたる）  
1993年、東京生まれ  
静岡県育ち。  
大学では海洋生命科学を学び、  
魚の研究をおこなう。  
2016年4月、入職。  
万歩計最高歩数 15,172

## 2ショット インタビュー

芳垣康彦（よしがき・やすひこ）

1960年生。東京都出身。  
1983年、入職。横浜市中央浩生館  
配属。20年浩生館にて勤務し、  
その後保土ヶ谷生活支援センター  
や鶴見区生活支援センターの開設  
等に施設長として従事。  
2017年、横浜市中央浩生館  
施設長就任。  
万歩計最高歩数 14,894

話し手

芳垣 中央浩生館で働き始めて2年目になりましたがどうですか。

平野 福祉業界のことを全く分からぬ状態で入職したので、日々学ぶことが多い中で貴重な経験をさせて貰っています。

芳垣 様々な思いを抱えている利用者様と向き合う中で、平野さんはまだ若いから言葉遣いや相手を立てていかないと若造扱いになっちゃうから注意が必要だね。

平野 そうですね。そこは感じています。そのような中で支援をしていると、悩んだり嫌なことはあったりしますが、施設長が良くしてくれるから続いている部分もあります（笑）。

施設長が利用者の方と関わる中で大事にしていることがありますか。

芳垣 以前利用者様に、生活にゆとりがある感じが話しやすいと言われたことがあります。心に余裕を持っていないとこのような仕事は出来ないと思っているので

常にその部分は意識しているかな。

平野 非常に参考になりました。心に余裕を持ちながら支援していきたいと思います。施設長は休日にいつも何をされているのですか。

芳垣 予定が無いと1週間撮りためたドラマ等を見たり、コストコで買い物をしてしたりするかな。

平野 休日にやることがあるのは良いですね。最後に施設として今考えていることを聞きたいです。

芳垣 今後浩生館だけではなく、インカルやすてら縁を含めた職員全員が1つのチームとして支援に向き合っていき日本を変えていこう。

平野 はい（苦笑）。



# よこはまりバーサイド泉



## 【事業所紹介】

よこはまりバーサイド泉は、通所・入所・短期入所・日中一時支援・児童の事業を展開しています。主に重度の障害者の方を受け入れています。設立して35年が経ち身体障害者施設として長い歴史があります。

【職員構成】  
総数 88名  
(男性 34・女性 54)  
20代～60代

**聞き手**  
**宮崎翔太**  
(みやざき・しょうた)  
1993年、神奈川県横浜市生まれ。  
小学生の頃リバーサイド泉で職業体験をしたことでの仕事に憧れる。  
2016年4月、入職。

## 2ショット インタビュー

中村良隆(なかむら・よしたか)

1960年生。東京都港区出身。  
大学を出て入職。リバーサイド泉で現場を20年行い、その後中央更生館に異動した後、篆沢ケアプラザの所長を経て、リバーサイド泉の施設長に至る。

万歩計最高 17,000

**話し手**

宮崎 よろしくお願ひします。  
中村 よろしくお願ひします。  
中村 宮崎さんからこの施設に就職したきっかけは何か教えてください。  
宮崎 小学校のときにここで芝桜を植える体験をして、その思い出がありここに入りました。  
中村 その当時地域担当をしていたから会っていたかもしれないですね。  
宮崎 福祉への思い・ビジョンなどを聞かせてください。  
中村 私が施設長のうちにやってみたいことは居室を完全に個室化したい。個室であることが当たり前であるはずなので全室個室化をしたいという思いはずっとあります。  
宮崎 休日の過ごし方を教えてください。  
中村 食に関するドラマや映画を観ています。ドラマや映画を観て、美味しいお店を探などを行っています。  
宮崎 若い頃苦労したことはなんですか。

中村 いろいろあるけど、施設のことを地域の方に知っていただくことです。  
宮崎 今まで一番うれしかったことは何ですか？  
中村 全身拘縮の方が自走できる車椅子を作り、それに乗って人生で初めて自分で動いたときのうれしそうな顔を見たことです。  
最後に宮崎さんの福祉に対する想いは？  
宮崎 一人一人が実現したい事、やりたいことを共に実現できるような支援員になりたいです。そして、福祉のプロフェッショナルになって、いつかプロフェッショナルというテレビ番組に出演したいです。  
中村 がんばりましょう。



# 横浜市大岡地域ケアプラザ



## 【事業所紹介】

横浜市大岡地域ケアプラザは、地域のみなさまが住み慣れた地域でいつまでも健康で安心して暮らせるようお手伝いする福祉・保健活動の施設です。

【職員構成】  
正職員 13名  
非常勤職員 41名  
50歳代が中心

聞き手

水野岳（みずの・たけし）  
1993年生。東洋大学卒。  
大学時代「高齢者の孤立」に関する卒論を書く。  
2016年 入職。

万歩計最高歩数 約20,000

## 2ショット インタビュー

奥野高史（おくの・たかし）

東京都葛飾区生まれ。60歳。

銀行員、横浜市福祉サービス協会を経て当法人にたどり着く。  
万歩計最高歩数 27,823

話し手

水野 今日はよろしくお願いします。

奥野 お願いします。入職してから1年半・・どうですか？

水野 大岡で働き始めて、高齢者の病気の理解ができていなかったり、周りの状況が見えていないなど、多くの事に気づかされました。「弱い立場になる人を支援したい。」という思いが、原点なので、そうなれるよう頑張ります。

奥野 私のモットーは「人には親切であれ」。「親切」って人に关心を持つ、という事で、行動だからさ。まずは日頃からご利用者の様子に关心を持つ事、そこに足場を置く事で水野君の目標も開けてくると思うよ？

休みの日なんかはどうしているの？

水野 とにかく寝ています。軽く体を動かしたい時はジムに行って体を動かしています。あとは野球観戦や旅行に行ったりです。所長はどうですか？

奥野 58歳になって突然、このままじゃダメだ！と上から降りてきたの。それから歩く事から始めて、今では休日に10キロ近く走りまわっているので、奥さんからは“行ったっきり男”って呼ばれています。

水野 今年の横浜マラソン短距離の部に2人でエントリーしましたが、落選で残念でした。来年もまたエントリーしましょう。所長には負けませんよ！



# 横浜市簗沢地域ケアプラザ



## 【事業所紹介】

地域ケアプラザは、地域の皆さんの身近な相談窓口です。

「地域包括支援センター」「地域活動交流」「生活支援コーディネーター」「居宅介護支援」「デイサービス」の各部門が総合的に福祉・保健サービスの提供や支援活動を行います。

【職員構成】  
総数 46 名  
職員 12 名  
非常勤職員 34 名  
幅広い世代が活躍中

聞き手

相良由香（さがら・ゆか）  
1991年11月生まれ。  
宮崎県出身  
2015年4月～デイサービス勤務

万歩計最高歩数：22,796

## 2ショット インタビュー

渡邊圭子（わたなべ・けいこ）

1973年11月生まれ。  
神奈川県横浜市出身。  
1987年、入職。リバーサイド泉  
配属。  
2017年簗沢地域ケアプラザ  
所長就任。

万歩計最高歩数 23,539

話し手

相良 繁張してきました。お願いします。（突然）

ご結婚されていますが、休日はどこかに行

かれますか？

万歩計を見る  
とよく歩いて  
いますが……

渡邊 歴史巡りが  
好きで、11  
月に小田原

城や漁港等(7.5 キロくらい)を散歩し  
てきました。お土産に漆塗りの夫婦箸  
を買いました。小田原の街は古く伝統  
館がたくさんあり、外郎(ういろう)の  
博物館もあるんですよ。

相良 私はおばあちゃん子だったので和菓  
子は大好きです。以前、デパートの専  
門店で練り切りを4つ、大人買いした  
ことがあります。高校の授業で毎週お抹  
茶をたてていたのが懐かしいです。

渡邊 デイサービスで敬老の日のお祝いな  
どでお茶をたてたら素敵ですね。

相良 リバーサイドに勤められたきっかけ



はどんなことですか？

渡邊 中学生の時に車いすテニスをしてい  
る人達と関わった事がきっかけです。  
障害があるから運動はできないという  
固定観念があった事に気が付き、障害  
がある方の自己実現のお手伝いができ  
れば、と福祉を目指しました。ケアプ  
ラザは障害だけではなく、高齢者支援、  
子育て支援と色々な分野で関わること  
ができますね。

相良 リバーサイドは施設としては大規模  
ですね。1対1の介護ができるデイサ  
ービスとは違いますよね。

渡邊 視野が広くなり  
ますね。連携しな  
がら支援をして  
います。色々な事  
業所を知って福  
祉を学んでほし  
いですね。



# 横浜市保土ヶ谷区精神障害者生活支援センター



## 【事業所紹介】

横浜市内の各区に1つずつある精神障害者のための支援センターです。「かるがも」という複合ビルの4階。朝の9時から夜の9時まで。土、日、祝日も営業しています！

【職員構成】  
総数11名  
(男性6・女性5)  
20代～50代

聞き手

奈良歩 (なら・あゆむ)  
1995年、青森県弘前市生まれ。  
大学で社会福祉を学び、上京。  
2017年4月、入職。  
万歩計最高歩数 10,701

## 2ショット インタビュー

米津剛 (よねつ・たけし)

1964年生。山口県出身。  
1987年、入職。リバーサイド泉、  
蓑沢地域ケアプラザを経て、総務部勤務。  
2010年、保土ヶ谷区生活支援センター所長就任。  
万歩計最高歩数 17,113

話し手

- 奈良 よろしくお願いします。
- 米津 よろしくお願いします。今回の対談のテーマは決まっているの？
- 奈良 しっかりと覚えてまいりました。さっそくですが、所長がお仕事の中で大切にされていることはありますか？
- 米津 特にそういうことは考えたことはないけど、利用者の支援を云々は、当たり前のことでここでは割愛して、自分の任務は、現場の職員が安心して本来業務に携われるよう現場の環境を大切にしているつもりです。
- 奈良 以前同じ質問を所長がしてくださいました時から気になっていまして、せっかくの機会ですので、是非所長のお話を聞きしたいと思い質問させていただきました。
- 米津 そっか、前にやった時に比べてテーマとかちゃんと考えてきてるじゃない（笑）。

（【解説】奈良氏は今回の対談の前に、二度ほど対談をしたのだが、準備不足で話にならず、三回目にしてやっと実現したのであった）

奈良 前回対談をさせて頂いた時は、テーマも何も考えていませんでしたので今回こそはと……、前回は大変失礼致しました！

米津 （笑）

奈良 所長には大変ご迷惑をおかけしたんですけど、以前の対談があってから改めて所長からの質問について考えるきっかけになりました。以前私は「今出来る事をしようと思って仕事をする事」と申し上げましたが、今は「出来る事をもっと増やしていくかしないといけない」という事を意識して仕事をしたいと思っています。

米津 いいね～！ そういうのいいじゃん！ そういうことをここに書けばいいんじゃないかな？

奈良 っ！ そうですね！ 参考になります。



# 居宅サポート・リバーサイド泉



## 【事業所紹介】

共同生活援助(ゆい、サンライズ)、居宅介護、計画相談支援の3事業を行っています。現場は24時間、365日稼働していますので、多くの非常勤職員に協力してもらい運営しています。

【職員構成】  
正職員 22名  
非常勤職員 90名  
20代～70代

聞き手

青山真希  
(あおやま・まき)  
1994年、神奈川県横浜市生まれ。中学で福祉に興味を持ち、関係高校大学と進学。2017年4月、入職。  
万歩計最高歩数 18,472

話し手

## 2ショット インタビュー

中出朋子(なかいで・ともこ)

神奈川県逗子市生まれ。  
2003年、入職。リバーサイド泉配属。  
2004年、居宅サポート・リバーサイド泉へ異動。  
2015年、同事業所所長就任。  
万歩計最高歩数 12,205

中出 居宅サポートの仕事はどうですか。

青山 まだ初めての事ばかりで良く分からないことが多いです。

中出 この事業所に配属された時、希望で配属された職種ではなかったのに「ここの仕事を極めてみようと思います」と言ってもらい嬉しかった事を思い出します。頑張って下さい。

休日は旅行とかしますか。

青山 今はお金が貯まってないので旅行とかは行けないです。同期とは先日ラーメンを食べに行きました。

中出 自分のモチベーションを保つためにもちゃんと休んで、休日は楽しんで下さい。

青山 所長は所長業以外にも色々やっていて忙しそうですが、大変な事はありますか。

中出 以前、先輩職員から「迷ったら支援計画に戻れ」と教えられた言葉を大事にして、利用者様が楽しく

過ごせるよう、自分も迷いなく支援できるよう努めてきました。居宅の仕事では日々の繰り返しで疲れてしまわないよう、小さな事の気付きで変化をもたせる工夫をしたり…それらを乗り越えて今に至ります。今は少し届かないぐらいの目標設定をして、仕事に優先順位を付けてやり繰りしています、完全には終わりませんけど。

青山 細かい変化に気を付けて、目の前の仕事を頑張りたいと思います。



# よこはまりバーサイド泉Ⅱ 光梨



## 【事業所紹介】

地域で生活されている方や(デイサービス)、施設に入所されている方へ日々の生活介護を支援します。また一人ひとりが充実した時間を過ごせるために必要な支援を通して、円滑な活動への参加や多人数との交流や集団活動への参加や仲間とのふれあう環境を目指していきます。

【職員構成】  
正職員 10名  
非常勤職員 21名  
幅広い年代が活躍

聞き手

林夏樹 (はやし・なつき)  
1994年生。明星大学卒。  
大学時代「障害児への虐待」  
に関する卒論を書く。  
2017年 入職。  
万歩計はこれから頑張ります！！

## 2ショット インタビュー

林里美 (はやし・さとみ)

東京生まれ横浜育ち。  
地域作業所ボランティア→  
入所施設→グループホーム・居宅→光梨へ。様々な  
施設を経験する。

万歩計最高歩数 24,000

話し手

林夏 今日はよろしくお願ひします。  
林里 お願いします。  
林夏 福祉や施設に対する思いについて教えて下さい！！！  
林里 利用者にとって「特別なもの」でないように、とは思いますね。はたらく職員は、「施設の常識は社会の非常識である」という常識の差に気付き、暮らし合わせて支援を行う事を大切にしてほしいと思います。

林夏さんはどう思いますか？？  
林夏 僕もそう思います！！実践するのは難しいですが少しずつ頑張ります！！最近ハマっているものってありますか？  
林里 そうですね～。落語にはまってい

ですよ！林夏さんもぜひ！！！  
林夏 ありがとうございます！！所長の苦労話を教えて下さい！  
林里 ん~、過ぎてしまえば全て大切な経験ですが、しいて言えば、「年上の後輩」として施設に配属された時は職員との付き合い方が大変だったな～。他にも試し行動をする利用者と関わる時に、その利用者の方の悪いことも含めて、良かったと思って頂ける対応の仕方を学んだ時は苦労しましたね！林夏さんもこれからだとは思いますが、たくさんの経験をしてください。身体には気を付けてね！！

林夏 貴重なお話ありがとうございました。



# 横浜市鶴見区精神障害者生活支援センター



## 【事業所紹介】

精神障害をお持ちの方やそのご家族、地域の方を対象に日常生活に関する様々な相談を受け、精神保健福祉に関する情報提供や普及啓発を行う施設です。

## 【職員構成】

総数 11名  
男性 5名 女性 6名  
20代～40代

聞き手

坂井優仁  
(さかい・ゆうひと)

1994年、佐賀県に生まれ藤沢市で育つ。日本福祉大学で社会福祉を学び、2017年4月より、鶴見区生活支援センターに入職。

## 2ショット インタビュー

話し手

村山哲史 (むらやま・さとし)

1979年生。大阪府に生まれ宮城県、東京都で育つ。  
2002年、精神科病院相談室に入職。  
2012年、鶴見区生活支援センターへ開所準備から携わり、2017年7月より、所長就任。

坂井 そもそもなぜ、精神保健福祉士になろうと思ったのですか？

村山 実習で、40年以上長期入院している方々と出会い、おかしいことだと思った。実習指導者との出会いが、人生観を変え、この仕事にやりがいを見出したから。

坂井 事業所としてのビジョンは何かですか？

村山 入院している人や誰もが住みたい場所でごく当たり前の権利行使して生活を送ることができるようサポートすること。退院してからこそスタートであり、生活支援センターのPSWは、入院中から退院、退院後から生活を支援するというソーシャルワークの醍醐味を味わえると思う。

坂井 趣味や休日の過ごし方などを教えて

ください。

村山 今は、飲み会を許してもらう為に家事全般を手伝いポイントを稼いでいる(笑)

坂井 若いころ苦労したことは？

村山 パチンコで負けたこと(笑)。後は、周囲のDr, Nsなどとやりとりに苦労した。そのためには、研修や勉強会に参加した。

坂井 今の所長の将来の夢は？

村山 「長生き」。娘の結婚式に出席したい。

坂井 新人へのアドバイスをください

村山 たくさん遊び、いろいろ学ぶ。研修なども、思うように出られなくなる前に、出られるだけ出た方が良い。

坂井 万歩計の最高歩数は？ 僕は、12,500歩です。

村山 道に迷った時に、15,865歩。

坂井 今日はありがとうございました。



# よこはまりバーサイド泉Ⅲのぞみ・ひまわり



## 【事業所紹介】

生活介護・放課後等デイサービス・日中一時支援を行っています。医療的ケアを必要としている重症心身障がい者（児）などに日常生活の場を提供しています。

【職員構成】  
総数30名  
(男性8・女性22)  
20~70代

聞き手

河内洋介  
(こうち・ようすけ)  
埼玉県所沢市生まれ。  
厚生労働省での事務を  
経験したのち、2015年  
4月のぞみに入職。

## 2ショット インタビュー

話し手

林里美 (はやし・さとみ)  
神奈川県横浜市育ち。地域の  
作業所などの勤務を経て、  
2005年入職。リバーサイ  
ド泉に配属。リバーサイド泉  
Ⅱ光梨の立ち上げに携る。  
現在、Ⅱ光梨、Ⅲのぞ  
み・ひまわりの所長を  
兼任。

- 河内 最初の配属先（入所支援課）でご苦労された点はありますか。
- 林 介護というものに初心者であった私をなかなか受け入れて下さらない利用者様がいました。何とか時間を作り、その方と接する機会を増やし少しずつでも信頼関係が築けるよう努めました。
- 河内 それでは、のぞみ・ひまわりに対する思いがありましたら教えて下さい。
- 林 素地は出来ていると思います。より良い利用者支援を行っていくために、職員のスキルを高め、利用者様に寄り添っていただければと思います。
- 河内 最後に、のぞみには家庭を持ちながら働く女性がたくさんいます。メッセージをお願いします。

林 仕事をしながら家事や子育をするることは大変だと思います。今まで頑張ってこられたのも、全て利用者様からいただいたパワーだと感じています。仕事と家事の両立は何とかなるものです。色々あると思いますが気持ちを楽に持って頑張って下さい。



# 横浜市多機能型拠点 こまち



## 【事業所紹介】

医療と福祉サービスが一体化した施設で総合相談窓口により、サービスと情報・提供等を行っています。医療ケア等を必要とする重症心身障害児・者の方とその家族が身近な地域で安心して生活できるよう支援を行います。また、地域の方にも利用して頂ける診療所や地域交流室等の提供も行っています。

【職員構成】  
総数 67人  
(男性 18人 女性 49人)  
20~60代

話し手

雨宮卓

(あめみや・すぐる)  
1994年、神奈川県横浜市生まれ。  
大学では心理学を専攻。  
2017年4月、入職。

## 2ショット インタビュー

西田守希 (にしだ・もりき)

1968年生。神奈川県藤沢市出身。  
1993年、リバーサイド泉入職。  
その後、ひかり・のぞみの管理者を経て、現在こまちの施設長となる。

万歩計最高記録 12,178

聞き手

雨宮 若い頃苦労した話を教えて下さい。

西田 若い頃? いつ頃の若い頃?

雨宮 自分と同じ、法人に入って直ぐの頃の話をお願いします。

西田 介護の仕方が全然分からなかった。

雨宮 同じです。どうやって習得したんですか?

西田 誰でも苦労する道なんだろうけど、介護技術を身に付けるってことが全く違う知識の中でやり始めたから。それが一番大変だったね。とはいえ、先輩達が教えてくれるって言ったら、昔は見て覚えろの世界だった。だから、モチベーションが上がったね。

雨宮 見て覚えろか…その時、困ったことはありましたか?

西田 介護をさせてくれない利用者の人もいたね。「お前は来なくていい」「新人で技術もなくて、いきなり体を触る気か」って。

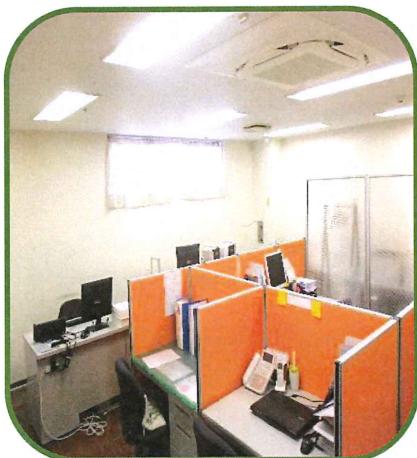


雨宮 どう対応したのですか?

西田 人間関係の信頼がある程度出来て初めて介護が出来た。自分が苦手な人ほど、積極的に関わりを持つ事が大切。苦手な人を克服していく事で、介護の幅が広がって行くし対応できる人も増えて行く。嫌な人も好きになれるよ。

雨宮 勉強になります。僕もこれからぜひ実践させて頂きます。3時間もお付き合いいただき、ありがとうございます。

# 法人本部事務局



## 【事業所紹介】

法人の中心として、事業所全体の円滑な運営を支えるため、各部門の担当者が専門性を活かしながら日々業務を行っています。

【職員構成】  
総数 9名  
(男性 5・女性 4)  
20代～60代

聞き手

小菅舞 (こすげ・まい)  
1993年、神奈川県藤沢市生まれ。  
田園調布学園大学に在籍中、当法人で実習を経験。  
2016年4月入職。

話し手

## 2ショット インタビュー

妻鳥一富 (めんどり・かずとみ)

1956年出生。  
愛媛県四国中央市出身。  
横浜市役所での勤務を  
経て、2017年4月  
横浜市社会事業協会に  
入職。

小菅 事業所のビジョンを教えて下さい。

に歩いたり。地元にお金を落とそうと思って、日替わりでローテーションしています。

妻鳥 各事業所に合わせた働きやすさをプロデュースするため、現場の声を拾ってサポートしたいと思っています。働く人たちが幸せな思いで全力を尽くせる環境を作っていくたいですね。

小菅 ぜひお勧めのお店を教えて下さい。若い頃に苦労したことは何ですか。

小菅 法人の経営理念は職員も対象になっているんですね。休日はどのように過ごされているのですか。

妻鳥 子育てをしながら働くこと。まだ育児のために休暇を取る人が少なかったので、楽しかったけど仕事と両立させるのが非常に大変でした。

妻鳥 週2日スポーツジムでトレーニングやランニングをしています。あとはカラオケとか、ヨガで呼吸法も。内面を落ち着かせるプロセスを得しようと思って凝っています。

小菅 今は環境が整っているのですね。妻鳥 応援する体制ができているので、ぜひ将来に向けて、色々なビジョンを描いて頑張ってください。

小菅 体のケアをされているんですね。お昼休みもたくさん歩かれていると思うのですが、どちらまで行かれているのですか。

小菅 ありがとうございました！

妻鳥 近くの公園まで行ったり、お昼を食べ

最高歩数  
21,000

最高歩数  
53,636





社会福祉法人 横浜市社会事業協会 機関紙

シンフォニー

第21号



発行元 社会福祉法人 横浜市社会事業協会

横浜市泉区中田東3-15-2中田町センタービル202

発行日 平成30年2月1日

印刷所 就労継続支援A型事業所 アテイン